

2013年11月11日

各位

会社名  株式会社 日阪製作所  
 代表者名 代表取締役社長 前田 雄一  
 コード番号 6247  
 上場取引所 東証 第1部  
 問合せ先 経営管理部部長 船越 俊之  
 電話番号 06-6201-3532

**第2四半期累計業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2013年5月14日に公表いたしました2014年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2014年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績値との差異（2013年4月1日～2013年9月30日）  
 （金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	11,000	970	1,120	700	22.68
今回実績値(B)	11,621	1,204	1,409	966	31.30
増減額(B-A)	621	234	289	266	
増減率(%)	5.6	24.2	25.8	38.0	
(参考)前期実績 (2013年3月期第2四半期)	10,795	829	1,028	672	21.11

2. 2014年3月期通期連結業績予想の修正（2013年4月1日～2014年3月31日）  
 （金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	23,500	2,350	2,600	1,610	52.16
今回修正予想(B)	22,200	2,000	2,300	1,510	48.92
増減額(B-A)	△1,300	△350	△300	△100	
増減率(%)	△5.5	△14.9	△11.5	△6.2	
(参考)前期実績 (2013年3月期)	23,699	2,259	2,549	1,721	54.62

### 3. 理由

2014年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高はバルブ事業が期初計画を下回ったものの、生活産業機器事業において短納期品を積上げるとともに、受注残の納期が上期に前倒しになった案件もあり、前回予想を上回りました。営業利益・経常利益は、売上げ増加要因に加え、高採算案件が多かったことから前回予想を上回りました。また、四半期純利益につきましても、営業利益の増加に加え有価証券償還益等を計上したため、前回予想を上回りました。

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期末の受注残の状況や、足元の経済環境を鑑み、上記の通り修正いたします。

受注高につきましては、当第2四半期累計期間の進捗状況及び足元の経済環境から想定し、期初計画244億円から14億円減額の連結受注高230億円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、5月14日公表の予想から変更はありません。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上